

令和8年4月1日付教育委員会事務局の組織改正等について

本市では、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」教育理念の下、誰一人取り残されず持続可能な社会の創り手となる子どもたちの健やかな育ちと学びを実現するため、本市ならではの学力向上対策や伝統文化体験、障害のある子どもや日本語指導の必要となる子どもの学びの保証、不登校児童生徒の支援やいじめ対策、さらにはまち全体を学びの場とする「生涯学習のまちづくり」に向け、市民ぐるみで取り組んでいます。

こうした教育改革を一層推進し、本市学校教育の目指す子ども像である「伝統や文化に学び、次代と自らの未来を創造する子ども」の育成、まち全体を学びの場とする生涯学習のまちづくり、さらには「京都基本構想」や「新京都市戦略」で掲げられた未来へと継承すべきまちの理想の実現に向けて、令和8年4月1日付けで、次のとおり組織改正等を行います。

1 「教育政策監」の設置

令和8年度は、部活動地域展開や全員制中学校給食（いずれも令和10年度実施）の実現に向けた具体的な取組の推進をはじめ、学習指導要領の次期改訂に向けた調査研究、国際都市・京都を担う子どもの育成に向けた本市ならではの英語教育の推進や多文化共生のまちづくりを推進する日本語指導の充実、市立高校のより一層の魅力化向上、不登校児童生徒の支援をはじめとする一人一人への個別最適な学び・きめ細かな支援に向けた教育環境の整備等、**重要政策の更なる推進に取り組む年度となるため、教育政策監（局長級）を設置**し、教育委員会全般の政策を総合的に推進します。

2 「部活動地域展開準備室」の設置

令和7年7月に策定した「京都市学校部活動及び地域クラブ活動推進方針」及び令和7年12月に国から新たに示された「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を踏まえ、令和10年9月から実施予定である「京都版地域クラブ（仮称）」や「放課後活動」の準備業務を着実に進めていくために、**指導部内に「部活動地域展開準備室」（課相当）を新設**し、専任職員（行政職）を5名配置するとともに、教育委員会事務局職員の兼職及び市長部局職員の併任により、関係部署が緊密に連携し、取組を推進します。

3 「国際都市・京都を担う子どもの育成」に向けた英語教育推進体制の強化

本市の伝統・歴史など文化資本の活用、大学等との連携、外国人居住者の参画等による、**京都ならではの英語教育の充実策をまとめた「取組指針」を策定**し、授業はもとより、本市独自任用のALTの更なる活用等による英語を通じた学校内外の活動や国際交流の充実、教員の授業力向上など、児童生徒が自らの考えや京都・日本の魅力を発信できる実践的な英語力を高める取組を一層推進するため、**学校指導課に英語担当の首席指導主事を新たに配置**するとともに、関係部署による**「英語教育推進チーム」を設置**します。

4 京都ならではの学校を核とした地域づくり（スクール・コミュニティ）の推進に向けた体制整備

児童生徒の健全育成と地域の活性化の好循環を生み出す、京都ならではの学校を核とした地域づくり（スクール・コミュニティ）を推進するために、**地域学校協働活動推進員の配置拡大や学校施設の持続可能な管理体制の構築**に関係部署で連携して取り組むとともに、本年11月に本市で開催される「全国コミュニティ・スクール研究大会」に向けて、**生涯学習部学校地域協働推進担当に担当係長を配置**するなど体制の強化を図ります。

5 新しい図書館構想に向けた体制整備

京都市図書館について、多様な世代が「集い」「にぎわい」「交流」する「居場所」としての多機能化、他の公共空間との複合化などについてまとめた**「図書館パブリック「テラス」グランドデザイン（仮）」を策定**し、まちづくりの拠点や、地域コミュニティの核としての役割を果たす新しい図書館の在り方の検討を進めるため、**生涯学習部施設運営担当に担当課長及び担当係長を配置**します。